



西  
晉  
發  
微

洋学文庫  
文庫 8  
0 8  
1





官

長崎柳圃先生遺教 大槻玄幹著

和音

唐音

對註西音發微完

附西洋字原考

許

文政丙戌發兌書肆

青藜閣同刻  
金華堂

西音發微

西音發微

我

阿盧那之邦以言靈

教上<sup>カ</sup>古<sup>ミ</sup>々<sup>リ</sup>在<sup>ニ</sup>弗<sup>レ</sup>特<sup>ク</sup>

神明<sup>カ</sup>明<sup>ミ</sup>憑<sup>リ</sup>禱<sup>ス</sup>君<sup>ノ</sup>奇<sup>ニ</sup>亦<sup>レ</sup>能<sup>ク</sup>言<sup>フ</sup>

其<sup>ノ</sup>字<sup>ハ</sup>々<sup>々</sup>有<sup>ル</sup>字<sup>ハ</sup>々<sup>々</sup>昧<sup>カ</sup>

西音發微

序



諸震且之於青契。象象  
聲彰。統王之乘。象象  
離。六振。細者。而存天下之  
聲。屬物之情。相資。始  
辨矣。

皇國。大遠致。益納。以

翔。王度。益通。民用。烏。  
當今之士。望治之久。洋  
外。德業。表職。宣。通。  
視。為。屬。國。和。索。家。形。遊。而  
不。悵。以。時。入。貢。不。重。子。譯  
而。通。字。東。却。語。矣。精。其



學<sub>ニ</sub>習<sub>フ</sub>之<sub>ニ</sub>者。如<sub>キ</sub>近<sub>世</sub>之<sub>者</sub>自  
 所<sub>ニ</sub>聞<sub>ク</sub>識<sub>ス</sub>之<sub>ニ</sub>者。如<sub>キ</sub>先<sub>朝</sub>之<sub>者</sub>自  
 生<sub>レ</sub>起<sub>ル</sub>也<sub>ニ</sub>中<sub>ニ</sub>。若<sub>シ</sub>撰<sub>ル</sub>政<sub>言</sub>  
 其<sub>レ</sub>監<sub>里</sub>滴<sub>美</sub>繩<sub>武</sub>家  
 聲<sub>一</sub>更<sub>著</sub>道<sub>志</sub>之<sub>西</sub>音  
 紫<sub>清</sub>之<sub>心</sub>。子<sub>里</sub>授<sub>音</sub>。微<sub>ニ</sub>

之<sub>カ</sub>弁<sub>以</sub>。梁<sub>朽</sub>才<sub>滿</sub>者。因  
 時<sub>ニ</sub>之<sub>業</sub>。第<sub>回</sub>也<sub>雄</sub>。意<sub>ニ</sub>  
 興<sub>カ</sub>國<sub>華</sub>。之<sub>映</sub>。京<sub>島</sub>。因  
 序<sub>ス</sub>  
 文<sub>以</sub>之<sub>角</sub>。般<sub>而</sub>。存<sub>一</sub>。日<sub>併</sub>。重<sub>於</sub>  
 清<sub>淨</sub>。海<sub>明</sub>。之<sub>國</sub>

南山<sub>之</sub>人<sub>古</sub>。序





西音發微

凡例

一本編和蘭字音ノ對註ハ余嘗テ長崎ニ游フ日柳圃  
 中野先生ニ謁メ口受スル所之唐山音ノ如キハ舌  
 人ニ面命メ其傳ヲ受ケ對註スト雖モ妥貼ノ者ヲ  
 得サルヲ半ニ居ル爾後十數年ニメ清文鑑及ヒ清  
 文啓蒙等ノ書ヲ閱スルニ其卷端ニ清文十二頭字  
 一百四十四韻ノ音釋ヲ出セリ故ニ本編出ス所ノ  
 喉唇喉音。舌尖柱喉音。重唇鼓氣音。滾舌鼓氣音。重唇  
 音等ノ音目及ヒ其對譯ノ文字等ハ其書ヨリ拔モ



西音發微

凡例

一

西音發微





ノアリ

一清文ニ倣テ廿六頭字輯韻ヲ創製シ第一頭字五位  
廿一行中拗音二行ヲ除テ十九行直音ヲ唇舌牙齒  
喉ノ五處ニ分チ每字平去入三聲ノ音註ヲナス者  
ハ大半磨光韻鏡ニ因テ按定セリ

一第二頭字ヨリ第五頭字マテノ拗音ハ悉曇ノ法ニ  
倣ヒ唇内音。舌内音。喉内音。開合二頭  
字ニ分ツノ三ニ分テム  
ノ韻<sub>レ</sub>ノ韻<sub>ウ</sub>ノ韻ノ外ニ<sub>レ</sub>ノ韻ヲ添テ四頭字ト  
ナシ各々某ノ韻字ヲ以テ對譯セリ

一本編ヲ述スル職トメ之由ル所ハ和蘭言詞ヲ譯ス

ルニ臨テ直譯ト義譯ヲ作ス可カラザル者ハ唐山  
音ヲ以テ對譯スルニ從來其譯字ニ窮スル者多シ  
而今此對註ニ因テ譯者ノ勞ヲ省クノミ

一和蘭ノ字音ヲ對譯スルニ其直音ノ者ハ和音ヲ以  
テ註スルヲ佳トス然レ<sub>レ</sub>拗音ノ如キハ唐音ニ求  
メズバアル可カラザル之因テ直拗共ニ唐音ヲ用  
フル之漢文ニ譯スル者ハ固ヨリ唐音ヲ用フルヲ  
得タリトスレバナリ

一直音ノ如キハ和音ヲ以テ註スルニ若ク<sub>レ</sub>ナケレ  
<sub>レ</sub>所謂五十音ト稱スル者古來其韻音訛謬スル者



多キガ故ニ今卷端ニ其呼法ヲ論シ正シキ古音ニ  
 復セントスル之此方ノ人先ツ五十音ノ正音ヲ呼  
 ヒ覺エ其ア經ノ一位ノミ韻字ニ母字ナルヲ  
 辨へ外四十五音字ハアノ一經ヨリ生スル理ヲ會  
 得メ彼廿六頭字ノ呼法ヲ覺エ次ニ輯韻ニ因テ反  
 切ヲ加へ各々毎字ノ音ヲ生スル理ヲ解ス寸ハ蟹  
 行蚊脚ノ書ヲ轉讀メ佶偈ナラザルニ至ルヘシ  
 一頭字輯韻毎條及ヒ輯韻反切ノ辨中ニ蘭音ニ對メ  
 和音ヲ論スルヲ往々之アリ宜ク左方ニ出ス所ノ  
 五十音ノ辨ト互考メ其要領ヲ得ヘシ

喉音

柳圃先生  
 曰諸厄里  
 亞國窮理  
 學上尼通  
 ノ書ニ三  
 稜角稿子  
 ヲ以テ諸  
 色ヲ現シ  
 各色ノ略  
 ヲ測定シ  
 色聲相通  
 ノ理ヲ發  
 明スル說  
 アリ此三  
 稜角稿子  
 ハ此方小

皇國五十音辨

ア  
 イ  
 ウ  
 エ  
 オ  
 此經ノ音釋ハ廿六頭字音註并ニ  
 卷末輯韻口呼ノ辨ニ見ヘタリ  
 此五韻母字ハ各々單音ニテ喉内ヨリ出ル音ニ輕  
 重ノ次テアルノミナリ假字作ラレザリシ前ハ所  
 謂萬葉カキトイフ者ノ如ク漢字ノ音ヲ以テ充ル  
 者モアリ義ヲ以テ填タル者モアリテ其例一定ナ  
 ラザリケル今ノ世唐音ヲ以テ充ントスルニ的當  
 ナル者一ツモナシ却テ之ヲ漢土ヨリ先ツ邦ニ  
 求ムルニ此五音母ナキ國十クツノ假字ナキ地モ  
 亦ナシサレハ此五韻母字コソ天然ノ音ナル可ケ

西音發散  
 五十音辨  
 三



兒ノ玩器  
 ニ用フル  
 五色鏡ノ  
 類ニノ五  
 色ハ即チ  
 宮商角徵  
 羽ノ五音  
 ニ應スル  
 先生ノ説  
 アレ氏律  
 學ト數術  
 ニ通セザ  
 レバ理會  
 シガタシ  
 但シ色聲  
 モト太陽  
 ニ扱ハル  
 一自然ノ  
 理ナリ

レ何レノ國土ニテモ生トシ生ルモノイカデ此五  
 音ナクテ萬ノ言ノ葉ヲ吐ヘキニヤ。サルニ漢土ニ  
 限リテナキハイカニトイフニ彼國上古此音ナキ  
 ニアラザレ氏コ、ノ如キ言葉ノ假名ナク  
 字ニテ漢土ノ如キ文字ナシ但シ皇國琉球朝鮮  
 等ハ假字ト文字ヲ併セ用フルナリ蒙古字ハ梵字  
 ニ因テ製セシヨシ近來行智闇架其讀法ヲ粗解セ  
 リ滿洲字ハ清太祖蒙古字ニ因テ創製シ自國ノ言  
 詞ヲ寫セシヨシ日官高橋公其法ニ熟ス魯齊亞字  
 ハ馬場轂里其邦人ヨリ傳ヘタリ和蘭字ノ如キハ  
 近世相傳ヘテ海内學者多シ梵字ノ如キハ古來相  
 傳ヘテ失ハス朝鮮諺文ノ如キハ古ク傳ヘシナレ  
 戸都下其學ヲ講ス文字ノ音聲モテ通スル故之ツ  
 ル者一二ニ過ス  
 ノ文字ハ象ニトリ義ニトリ拙キ畫ヲ觀カ如ク通

ハ又響ヲ聞カ如キ者之假令ハ馬ハウマノ象山ハ  
 ヤマノ狀水ハカハノ形溪ハ水ノ聲珊ハ玉ノ聲之  
 又此方ニテキトイヒカ子トイフニ彼方ニテハ其  
 名ハナク叩テモクミト響ク故ニ木トイヒ打テキ  
 ンミトナル故ニ金ト名ツケテ其ヲ直チニ名トス  
 ルト自然ノ勢ニテコ、ノ兒子輩太鼓ヲドシミト  
 イヒ和蘭ニテハ雷ヲDONDER印度ニテハ鳥  
 ヲカカト云フ類各々其假字アリテ書キ寫ス  
 ナレ氏彼ニハ其ヲ寫スヘキ假字ナキガ故ニ水  
 ヲ書テ其ニ音ノモクミトイフヲ名トシタル類皆畫  
 形木

西音發微 五音皆辨 一四



形ト音響オトヒキニ借テヨク似タルモノモテ童蒙ニ論シ  
其文字ニ音聲ヲ附シト見エ恰モ啞兒ノ物真似ス  
ルガ如クナレハ文字ハ前ニアリテ音聲ハ後ニ定  
リシナルヘシ此方ノ假字ノ如ク義ナク音ノマ、  
ニテ其假字ハ音相カサナリ運用ノ義ヲ生スルト  
ハ懸隔ノ違セメサレ凡漢土ノ古ニ單音ノ字ナシ  
トハ思ハレズ又コ、ノ如キ詞ナシトモ思ハレズ  
如何トナレハ焉矣乎哉而耳等ノ如キ助字ハ義ナ  
キガ如シ又呵々ハ笑聲嗚々ハ泣聲ニテ深キ義ナ  
シ此ノ如キ類古ヘ多クテ文字ト假字ト相交リテ

通用セシニハアラスヤ此ニ假字トイフハ音ヲ先  
假ノ名トナル之文字ハ本文ニモ云ル如ク畫ノ如  
キ者ニテ義ヲ先テ音ヲ後ニスレハ文アル字ノ  
意ニテ音ノ名ヲ借トハ其證ハ周以前字書ナシ爾  
大ニ徑庭ノ違ヒナリ 雅説文ノ如キハ周以來ノ書ニテ文字ノ制作モ伏  
羲蒼頡ノ舊跡ヲ見ルヲナク字體變革ノ古ニ倍シ  
音韻混雜ノ其正ヲ失ヒ言語紛亂ノ彼此通セザレ  
バ六朝ニ至テ梁ノ沈約トイヘル人文字ニ平上去  
入ノ四聲ヲ分チ二百六韻ヲ立テ萬音ヲ其中ニ収  
メシヨリ言語ノ異同ヲ正スニ四聲ヲ以シ音聲ノ  
混雜ヲ律スルニ二百六頭ヲ以テスルヨリ單音ノ



字ハ失ヒシト思ハル、之或書ニ曰ク我東有單音而無合音單音何曰  
 アイウエオ是也碎音也合音者何曰アインウ  
 エンオンアウイウエオ、アウツイウツウツ  
 エカツオカツ是也全音也ト大ナルヒガコト  
 經ハ單聲ニ即チ正音之カト經ヨリ以テ四十  
 五音ハ重聲ナレ直音之此五十音皆本來自然直  
 正ノ音聲ニ碎音ト云ヘカラス此他アイン等  
 ノ合音ハ皆拗音ニ全音トイフ可カラス漢字音  
 ノフニツキテ述ヘシトナレハ音聲自然ノ理ヲ辨  
 論ナリ其ヨリ叔世今ノ清朝ニ至ルマテ數十ノ字  
 書韻書旁出ノ文字悉ク皆義理ヲ存シ一字數義他  
 字他韻ヲ兼ルニ至リテハ漸ク四聲混雜音韻紛亂  
 メ言語ニ異同ヲ生スルガ如シ故ニ近來ノ俗語ト  
 云ヘル者ハ愈々助字倍メ殆ト此方ノ言葉ノ如ク

雅文トイヘル者ハ却テ助字愈々減メ只體用二言  
 ノ文字ヲ前後挿結メ其地位ヲ正スニ過キズ學者  
 宜ク此ニ因テ文字ト假字ノ辨別ヲ察スヘシ又漢  
 土ニ單音ナキ證ハ悉曇字記等ノ書ニ短ノ**カ**ノ對  
 註ニ阿ノ字ヲ用ヒテ短ク呼ベ音近惡トモ註シ或  
 ハ音惡トモ註シ又惡ノ字ヲ用ヒテ烏舸反ナド凡  
 註セリ是阿ノ字ハア、ノ音ニテ短聲ニ叶ハザル  
 故ニ入聲ノ惡ノ字ノ如ク呼ベト云フ之若シ阿ノ  
 字此方ノ音ノ如クアナラハ斯ル註トモハアルベ  
 カラズ次ニ長ノ**カ**ニモ阿ノ字ヲ用ヒテ依聲長ク



呼ベナト、註セルハ本音ノマ、ニア、ト呼ベト  
 云フ之長ク呼ハ本音ナレバ勿論ナレ凡前ノ短呼  
 ニ別タンタメニ斯クイヘル之次ニ短、ニ伊字ヲ  
 用ヒテ聲近於翼反ト註セルモ入聲ニ近キヤウニ  
 短ク呼ヲ云フ又億ノ字ヲ用ヒテ以伊上聲稍短呼  
 之凡鳥矣反短聲ナト凡註セリ次ニ長、ニモ伊字  
 ヲ用ヒテ依字長呼ト註セリ依字トハ依聲ト云ヘ  
 ルト同シクテ此字ノ本音ノマ、ニイ、ト長ク呼  
 ベト之既ニ慈覺大師ハ和音ニテ當テ以本郷音呼  
 之ト註セラレシト物ニ見エシヨシ誠ニ尤ニゾ覺

牙音

工侍ル此例ニテ考レバ漢土ハ沈約四聲ヲ立シヨ  
 リ此五韻母字、單音ハ失ヒシト知ル、之四聲其名ヲ異  
 ニスルモ萬國皆具セザルトナシ然ハ漢土ニモ上  
 古ヨリ自然ニアルベケレト沈約カ合音ノ字ヲ以  
 テ定メシヨリ千萬ノ字皆拗聲トナリテ  
 單音正聲ノ字ハ廢セシカト思侍ルナリ  
 アカ  
 カカキウカケオコ

此經ノ五韻子ハ上ノ五韻母字ノ單音ヨリ生スル  
 五字ニメ其音モ皆重音之下四十字同例ト知ルヘ  
 シ又カ緯ノ字九ハア韻ニメカ緯ク緯ケ緯コ緯皆  
 一ノ促リキカウノ促リクカエノ促リケカオノ促



リコ之此濁音ヲカギグゲゴトイフ萬葉假名ニハ  
其別アリテ文字モ異ナレ片假名ニテハ濁點ノ  
ミニテ分テリ

齒音

アス  
サ  
イ  
シ  
ウ  
ス  
エ  
セ  
オ  
ソ

此經ノ音前例ノ如キ重音之濁音ハザジズゼゾニ  
メ半濁ハアツザイシウツエセオツナリ

舌音

アテ  
イテ  
ウテ  
ツテ  
エテ  
テ  
オ

此經ノ音前例ノ如シ濁音タチツテド半濁音ナシ  
此五韻子ノ中今訛リ呼モノニツアリテトツノ音  
之後世呼トコロノ音ハ切經ノシトスノ半濁音之

清音ニテハ差ツカヒナキ様ナレ片濁音ニ呼寸ハ  
シノ濁リチノ濁リスノ濁リツノ濁リ混メ辨シガ  
タシ是ハ本音ヲ訛リテ呼ガ故之其證三アリ藤ノ  
カナハフヂ之富士ノカナハフジ之是古言明カニ  
分リタランニ今ノ人カナノミニテ音聲ニテ分タ  
ザルハ正音ヲ訛ル故ナリ是一ツ達智門ヲ古クタ  
テイ門ト書リ是ハ後世チヲ謬リテシノ半濁ニ呼  
ガ故ニ智ヲ正音ニ呼センガ爲ニ斯ク書シ之テハ  
ノ促リハチノ正音之其ヲ歌物語ナド讀ニハ日記  
ヲニキ絶句ヲゼクトヤウニ急ニ促ル音ヲ省キテ



唱フル例ニ収ムルハ大ナルヒガコト之夕チ門ト  
 コツ云ベケレド夕テイ門ト唱フヘキ謂レナシ是  
 ニツ今ノ世筑後ノ國人ハコノチノ濁トシノ濁ヲ  
 辨別ノ此ニ<sup>ツ</sup>兵衛トイフ人アリ彼ニ<sup>ダ</sup>重兵衛トイ  
 フ人アランニ相共ニ其名ヲ呼テモ又他ヨリ呼テ  
 モイサ、カ違フヲナシ是三ツニツトズノ別モ其  
 證三ツアリ渦ハウツノカナ字受<sup>華</sup>ハウズノカナ  
 之是一ツツハト云フテニハヲ萬葉ニ筒トモ喚雞  
 トモカケリ又字音ニテ都々ト書シモアリ此音今  
 ハトトヨメ<sup>氏</sup>實ハテウト云音之故ニテウリトナ

リテハツハニ充リガタシ依テ喚雞トカキタルハ  
 雞ヲ喚フ聲ニテ今ハ訛リテトト唱フルナレ<sup>氏</sup>  
 古ハテウトト唱ヘシ故ニ全クツノ正音ニ充リシ  
 ナリ是ニツ今ノ世蝦夷人ハスヲ半濁ニ呼ベルツ  
 ノ音ナシテウトノミ唱フル之故ニ松前ヲマテウ  
 マヘトツノ正音ニ呼之是三ツ之モシ又チトツノ  
 音ヲ今ノ如ク呼ハントナラバ夕ノ音ヲサノ半濁  
 ニ呼テアツザトナサバ律ニ協ハザル之又關東  
 ノ俗言ニ空囊ノ人ヲカラツチリト云コハ空<sup>カ</sup>尻<sup>ド</sup>ノ  
 轉之又奥羽ノ俗言ニカラシリ馬ヲカラチリト云







シノ夫信トモ呼ニテ知ヘシ是外經ヲ經十經ノ三ハ  
皆舌音ニメ縱橫相通スルガ故之昔ハ此ノ假字  
ナカリシニ或人ハんハもノ字之トイヒ或人ハニ  
ノ字ノ下ヲシトハ子タル之トイフ余ハ此說ヲ佳  
トスツハシノ音ハ十經韻子ノ字ナレハ之モハ  
經ニメ此經ノムハシニ混雜スルガ故ニモトムト  
相通ナレハ平カナノもヲんニ書メムトシニ通シ  
書シタルモ知ベカラサレハ是ハ所謂言便ニテ相  
通ニハアラザル之然レハ此ノ單音漢土ニテ的  
當ノ字音ナク又假用フベキ者モナシ故ニシノ假

追考シノ音ハ九經ノ所屬ニメ古音ナレバタラシニ經ニ相通スレハ唇音ニ經ノムヲ音便ニテシト唱フル例ニ入ルベカラズ唐音ハ勿論和音ニテモ古來其別正證アルニテ知ベシサレバ或人ノ音ハハトヤ

字出サル前ハ皆武牟等ノ字音モテ強テ通用セシ  
トト思フナレハ或人ノ說ニ此音ハ異國ノ音ニメ  
皇國ニハ古ヘナシト云ヘルハイブカシ如何ト云  
ニ古ヨリ今ニ至リテ音聲ノ上ニテハ此音アリシ  
ト必然之假字ノ上ニテ論スル寸ハ前ニモ云ル如  
ク古書ニハシト書スベキ假字ナキガ故ニ皆武牟  
等ノ假字ニテ通用セシガ故ニ後ノ世ヨリ是ハム  
是ハシト考ヘ正スニ由ナキニ似タリト雖ハ此辨  
ヘハ後ニ具セリ何ニマレシノ單音 皇國ヲ始メ  
漢土ヲ除ク外萬ノ邦ニ此音ナキハナカリシニテ



ノ變ニノ  
鼻音ナレ  
ハ皇國  
ノ古言ニ  
コレアル  
フナシト  
イヒテ切  
ニ唇音  
ンノ音ヲ  
廢シムノ  
音ニ改メ  
シフ大ナ  
ルヒガコ  
トナリ

唇音

モ知ルヘキニ  
行智闇架日朝鮮ハレ  
ノ字ヲニ用  
ニ用ヒ漢字モ因ヲイモトヨム例アルハ往昔ニ  
ハ通ノ韻ナレハ所謂言便ナルベシノ韻  
ハハ通スルハ所謂言便ナルベシノ韻  
此經ノ音前例ノ如シ濁音バビブベボ半濁パピプ  
ペポ之別ニ喉音ノバビブベボアリ皇國此音ア  
リテ其假字ナシ此論下ニ具ス  
アム  
マム  
イム  
シム  
ウム  
エム  
オム  
モ  
此經ノ音前例ノ如シ但シ此韻子ノムノ音ニノ音  
ト混メ分明ナラス今其別ヲ云ハンニユカムカヘ

ラムノ類ヲユカンカヘラン又ケムラムナムナド  
ヲモケシランナント云ワハ誤ナリツハユカメ  
ユカモ用テ一經通用ノ字ナレバナ經ニ混ズベ  
カラス扱シハイヌル<sub>往</sub>ライン又トモインデ  
ヌル死ヲシシデ用ニテ用ヒ又奈何事ヲナン  
ゴト何條ヲナン糸如何<sub>イカニ</sub>ヲイカント云類皆ナ經相  
通ニメ一經ニ混スヘカラス又地名ニ通用スル者  
ハ前ニモ云ヘル如クニ信<sub>シ</sub>ヲシナ<sub>濃</sub>因<sub>シ</sub>ヲイナ<sub>幡</sub>讚  
ヲサ<sub>又</sub>讚<sub>難</sub>ヲナ<sub>二</sub>難<sub>サ</sub>イ<sub>バ</sub>ラ<sub>古</sub>本<sub>ニ</sub>名<sub>无</sub>波<sub>字</sub>美  
前ニ強テシニ通<sub>丹</sub>ヲタ<sub>二</sub>波<sub>ト</sub>ア<sub>リ</sub>此<sub>无</sub>ハ<sub>シ</sub>ノ<sub>假</sub>字<sub>ナ</sub>キ  
用セシ証ナリ

西音發微  
五十音辨  
十二



ハナリ又蘭ヲラニ苑ヲオニ紫薰ヲク又薰衣近ヲ  
 コノ近ト呼等之以上皆舌内音相通ニメ唇内音ノ  
 ヲバセオ雙六ヲスグロク博士ヲハカセナド芭蕉ノ  
 ノ内音トイフハ眞文元寒等ノ韻字ニ皆シノ韻ナ  
 リ唇内音トイフハ眞文元寒等ノ韻字ニ皆シノ韻ナ  
 韻ナ扱ムノ假字ヲ地名ニ用ヒタルハ瀟ヲシミ  
 夷談ヲタミ出雲凡タム凡談和墨ヲドミ信濃凡ド  
 瀟凡出雲南ヲナメ凡南佐ナミ凡播磨呼フ以上皆  
 モ凡惠曇南ヲナメ凡南佐ナミ凡播磨呼フ以上皆  
 ニ通スベカラスナメ凡南佐ナミ凡播磨呼フ以上皆  
 正シキヲ知ヌヘシ書身ルミ頭ヲトミ文ヲサハ  
 ルヘカリテ讀カフモ又朝鮮ノ諺文ニ蘭ヲシレ  
 知ルヘカリテ讀カフモ又朝鮮ノ諺文ニ蘭ヲシレ

喉音

印ヲシム丹ヲシム苑ヲオン音紺ヲシム談ヲシム  
 曇ヲヒム唇ト書ニテモ其別ヲ見ルヘシ諺文レ字  
 ナレ終ナレバナレバノ音トナルナリ是ハナレハ  
 相通ナレバナレバノ音トナルナリ是ハナレハ  
 取テシ者ニアナリ思フニナレハ此レハヨリ  
 子テシ者ニアナリ思フニナレハ此レハヨリ  
 アイヤイウエエオヨ  
 此經ノ音ハ韻子ノハニ五韻母字ヲ配スルガ故ニ  
 イトエノ音ハ韻母ノ音ト混スルヲナレシ此經ノハ  
 ハハ重子タル音ニメイト引テ呼フ音ニエハ  
 上ニイト帶テイト呼フ音ニ此二ノ假字作ラレ  
 サルハ如何ナルヲニヤ余私ニイトイトエイト改



舌音

メ書メア經ノイエニ分テリ  
アル  
イル  
ウル  
エル  
ル  
オル

此經ノ音前ノカサタカハマノ六經ノ例ノ如シ但  
シ舌尖音滾舌音ノ別アリ此方其音アリテ其假字  
ナシ鴉珀設升六頭字音註并ニ輯韻第一頭字中ニ  
於テ攷究スベシ

唇音

アウ  
ウ  
イ  
ウ  
平  
ウ  
引  
エ  
エ  
ウ  
引  
オ  
ウ  
引

此經ノ音ハ韻子ノウニ五韻母字ヲ配メ重唇閉口  
ニテ呼フ音之ウアノ促リウイノ促リ平ウウノ  
促リ引ウエノ促リエウオノ促リ引之然ルニ此經

ヲ古來喉音開口ニ呼ガ故ニ平引エ引ノ四字音ヲ  
ア經ニ混ノミダリ之其呼法ヲ正シクスル寸ハ決  
メア經ニモヤ經ニモ交ル可カラスメ古キ假名遣  
ニテハ其別モ分明ナリ此經ヲ喉音ニ收ムヘカラ  
ザル論ハ下文ニ詳具ス扱此經ノウノ字ア經ト同  
シケレバ今私ニウト改メ書ス

アヤワ喉。タラナ舌。カ牙サ齒音。ハ、ニハ。唇ノ輕重。  
右ノ歌ハ何レノ頃ニカ五音十經ヲ唇舌牙齒喉ノ  
五處ニ定メテ教ユル歌ト見ユルナレ尺引經ハ喉  
音ニアラス重唇音之ニ具ス。此辨ヘ下宜ク改ムヘシ悉曇



家ニテ唇舌喉ノ三内聲ニ定ムル寸ハアカヤ喉サ  
タラナ舌ハマワ唇ナレバ今私ニ改メヨムヲ左ノ  
如シ

夕ラナ舌。カ牙サ齒音。ハマワ唇。アヤニッハ。喉音トシレ  
再按ニアワヤ三經ヲ喉音ト定テオトクノ錯地ヲ  
改メイト平トエトエトウノ音聲ヲ論スル説  
アレハ是ハ全クワ經ノ重唇音ヲモテ唇音ハ經ノ  
喉音ノ如ク呼カ故ニカ、ル差謬ハ出キヌルヲニ  
ゾアルラメ余思フニアハヤノ三經ヲコソ喉音ト  
定ムベケレ何トナレバワ經ハ重唇音ナレハ原來

追考古來  
アヤワノ  
三經ヲ喉  
音ト定メ  
シ其理  
ナキニ似  
タレハヤ  
ワノ二經  
ハ父字母  
字トモニ  
韻母ノ字  
ヲ重テタ  
レ音ナレ  
ハヤ經ヲ  
喉音ト重  
テ經ヲ重  
唇音ト  
定ムベシ  
或人ヤワ  
ノ二經ノ  
ミヲ重音  
ト思ヒカ

ア經ノ清濁音ニメ其ヲ次清音ニ呼フ寸ハア經ノ  
如ク聞ユルガ故ニイト平トエトエトウトウトオ  
トクノ差ヒ出ルナレハ此經ヲ喉音ニ入ルベカラ  
ザル理ハワノ音ヲ開口ニ呼フ寸ハ如何ニモア  
ノ音ニナレバ是非ニ閉口重唇ニビザレバワノ音  
ハ生セザルニ因テ此經ハ重唇ニ定メテ喉音ニ入  
ル可カラザルヲ良トスサレバア經ト混スル患ハ  
ナキニサテハ經モ唇音ナルヲ上ニ云ル如クナレ  
ハ此經モ元來ア經ノ次清ニテ其ヲ清音ニ呼フ寸ハ  
ア經ノ如ク聞ユルノ故ニハヲ開口ニ呼フ寸ハト



サタハハ  
マラノセ  
經ヲ直音  
トセシハ  
イカニカ  
ヤアノ一  
經ノ直  
音單行ニ  
ノ自餘九  
經皆重音  
ナルヲヲ  
辨ヘザル  
ハ笑ベキ  
ナリ

アノ閒ヨリ生スル音ニメ即チ喉音ノハニ故ニ西  
 土ノ音唐山ノ音共ニハ經ニ喉唇ノ別アリテ分明  
 之此方ニテハハハ體言用言トモニ發音ニアリテ  
 ハ開口ノハニ呼テ即チ喉音ノハニ然レ凡言詞ノ  
 末ニナル寸ハワト呼ベリ是ハ所謂言便ナルベシ  
 ヒハ終ヲツイニフトヘハ言ライウ言ライエト呼  
 フ皆フトヘノ喉ニメイトエニ近ク聞ユル之又菴  
 ヲイオト呼モ同シ理リ之又 **h o l l a n d** トイ  
 フ國名ヲ此方ニテオランダト呼ベドモ此ホハ喉  
 音ニメ此方ノ人ニハオト聞ユルガ故ニ **h i f s P**

**a n i a** トイフ國名ヲイスハニアト呼ビ **h o e**  
 トイフ言詞ヲウ、ト呼フ皆喉音ノヒトヲナルガ  
 故ニイトモウトモ聞ユル之 **P y C I a** ト云フ國  
 ヤト呼ハ此 **P y** ノ輯韻ヲ和蘭ニハ **I o** トカキテ  
 即チ滾舌鼓氣音ノ羅ナレバオト聞ユルナリ本  
 文說 **h o** 燻トハ別之故ニハ經ヲ喉唇ノニ定ムル  
 寸ハ開口呼ノハ經ヲ喉音トシ閉口呼ノハ經ヲ唇  
 音ト定ムヘキ之ハ經ハ上ニモ言ル如ク重唇音ニ  
 メア經ノ清濁閉口呼ナレハ決メアバヤ三經ノ喉  
 音ニ收ムベカラスノ又其三經ニ混スル患モナキ  
 ナリ其歌如左

百音發微 五十音辨 一六



アバヤ喉。カ牙。サ齒音ニ。タラナ舌。ハマワノ三ハ唇。輕重  
アヤワノ三經アヤノミ喉音ニ。メワハ唇音ナルヲ  
上件ニ辨ズル如クナレ。凡其三經ノ中イウエノ三  
ツ各々其音ヲ異ニスレ。凡假字同キガ故ニ今新ニ  
製スルヲ左ノ如シ

アイウエオ ヤイユエヨ ヲ平ウエヲ

文政庚辰孟春

大槻茂楨玄幹父識



